

授業科目名	教養学（哲学・論理学含む）	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	島本 裕士	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>その根拠から自分の言いたい結論を導き出すとき、そこには必ず「論理」が働いています。この論理をあらためて観察して、「論理的に正しい」とはどういうことかを考える。その他、社会人としての知っておくべきことをグループワークを通して学習する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>教養学として社会で起こっていることについて理解する。「論理的に正しい」とはどういうことかを理解して、論証を評価するための技法を身につける。大人数で自分の意見を言い、他者の理解も深め議論する能力を身につける。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	p2 オリエンテーション・グループワーク論① ※オリエンテーションとグループワーク論説明後、ペーパータワー実施				
第 2 回	グループワーク論② ※ブラインドスクエア・マシュマロリバー・マシュマロチャレンジを実施				
第 3 回	p6 論理的思考① ※論理的な考え方の講義をメイン				
第 4 回	論理的思考② ※論理的思考をグループワークで実践し、自分のものとする				
第 5 回	p10 哲学的思考 ※下記メッセージであるゴキブリについての発表会、その他「自由」等				
第 6 回	p11 思考柔化 ※論理的思考と哲学的思考を用いて、日常生活に疑問を持ち解決策を模索する				
第 7 回	p12 社会主義（共産主義）と資本主義経済、SDGs ※SDGsを改めて学び、考え直す、平等とは何か 等				
第 8 回	p15 アンパンマンについて考える ※アンパンマンについて言語聴覚士を志す学生として議論する				
第 9 回	p16 文献研究① ※研究とは何か、研究の種類や方法について				
第 10 回	文献研究② ※文献抄読をグループで実施				
第 11 回	p17 川柳を作る ※例年石川県言語聴覚士会の川柳コンテストに応募しているが本年は未定				
第 12 回	p18 社会人としてのマナー① ※既に成人であることを理解し、社会で必要なことの一部を講義する				
第 13 回	社会人としてのマナー② ※日本語は非常に難しい、尊敬語・謙譲語を考える				
第 14 回	p27 就職活動・履歴書 ※求人票の見方、年収の計算の仕方等就職活動に必要なことを講義する				
第 15 回	p45 総括 ※14コマのまとめ				
評価方法	定期試験で評価（100%）				
教科書 参考図書	〔教科書〕 適宜資料配布				
	〔参考図書〕 適宜資料配布				
履修上の 留意点	グループワークと講義を半々で行います。 配布資料は1冊にまとめ、シラバスにページ番号を記載した。 考えることが楽しいと思えないようであればこの授業は楽しくない。				
メッセージ	「ゴキブリが気持ち悪いと感じないようにする」にはゴキブリのどこを変えますか？ もしくは、自分や他者、社会をどう変えれば「気持ち悪くなる」のでしょうか。 考えてから来てください。考えることは楽しいと思っただけのよう努力します。				